

福島第一原子力発電所

ホールボディカウンタによる不適切な測定について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 2 月 2 0 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 当社は、昨日（2月19日）、協力企業から、発電所構内の大型休憩所に設置したホールボディカウンタ（以下、WBC※）による測定において、協力企業作業員（男性）が不適切な行為をしたとの報告を受けました。
- WBCによる定期測定については、対象者本人が、期限までに測定を完了する法令要求がありますが、当該協力企業作業員については、同僚の作業員の測定期限が迫っていたことから、同僚の作業員に代わり、WBCを測定しておりました。
- 当社は、本事案について、本日（2月20日）富岡労働基準監督署へ連絡を行うとともに、今回の不適切な行為を踏まえた対策（暫定）として、本日（2月20日）午前11時から、WBCに監視員を配置し測定前の本人確認を行う運用を開始しました。今後、同様の事例の有無を確認するとともに、再発防止対策を検討・実施してまいります。

※ホールボディカウンタ（WBC）

体内にある放射性物質を体外から測定する放射能測定装置

電離放射線障害防止規則では、放射線業務従事者は、以下の頻度で評価することとしている。

男性：3ヶ月以内ごとに1回行う